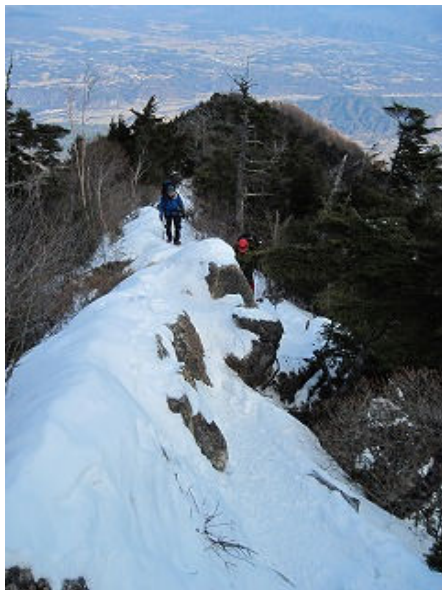


個人山行報告書

通算山行NO	NO. 1392	報告者	後藤隆徳
年月日	2010年01月02日(土)~03(日)	2万5千	上条長坂・甲斐駒ヶ岳
山名	甲斐駒ヶ岳(2967m)		駒ヶ岳
体力度=4・やや厳しい 技術度=4・やや難しい 道標=ある 駐車場=あり トイレ=駐車場 展望度=よい 三角点名= 甲駒ヶ嶽 等級=一等			
低温・強風・多雪の山			
コース とタイム	2日(風雪)=下土狩5:00—竹宇・駒ヶ岳神社発7:10—黒戸山—旧五丈小屋跡—七丈小屋14:15(泊) 3日(風雪)=起床4:30—出発6:00—駒ヶ岳9:00—小屋10:15~11:00—駒ヶ岳神社15:00		
標高差	上り・・・駒ヶ岳神社約775m~七丈小屋約2420m=約1645m 七丈小屋約2420m~甲斐駒ヶ岳2967m=約597m 下り・・・甲斐駒ヶ岳2967m~駒ヶ岳神社約775m=約2192m		
参加者	L後藤隆徳、ほか全3名		



年末年始の山は当初、東部ブロックに在籍する三会合同隊で塩見岳だった。ところが12月27日最終打ち合わせの夜、CLのS氏に訃報が入り同僚の仲間も参加を取りやめてしまった。

ここまで迫って立て直しは厳しい状況だったが、何とか有志3名で甲斐駒を目指す事になった。甲斐駒はALPSの冬山で一番上って山。昨年もある上っているの、まあ何とかなるでしょう。

2日=竹宇・駒ヶ岳神社に安全登山を祈願して出発。雪は昨年より多く気温も低く強風が吹き荒れていた。余りに寒いので、入山時では珍しく目出帽を被った。

何人か下山してきた人の話では、昨日は厳しい天気です。登頂は出来なかったことを聞いた。七丈小屋には7時間で到着。苦しい登山だった。小屋は相変わらず温かく快適。小屋主も健在。到着するや、サッと「インスタント汁粉」が出る。ストーブのヤカンの湯を注げば体は癒される。夜、外気温はマイナス15度。また、余りの強風にテント泊の4名が避難してきた。

3日=誰も出発しようとしないのでヘッドランプを点けトップで行く。昨日からの雪で小屋裏からラッセルが続く。特に八丈までの吹きだまりは腹上まで潜る。まだ、暗くてルートもよく分からない。あさぎりの若いI君もラッセルを担う。

1時間ほどで後続が来る。ここからラッセルは各パーティー交替で務める。中にはお客を連れてプロガイドもいた。ようやく九丈のオットセイ岩を越える。ここから頂上まで岩場が続く。それほど困難ではないが落ちればヤバイ。

頂上の祠が見えた。ゼイゼイハーハー、胸に焼け火ばちを突っ込まれたように苦しい。何故こんなに苦しいか分からない。昨年と変わらない時間で頂上着。毎年、苦し

い結果の頂上だった。展望は無く寒い。I君と握手をしてすぐ下山。もう上りのトレースは消えている。

八丈の鎖場は雪壁と化していた。ここで静岡・F山岳会の方が滑落。1時間強で小屋着。カップラーメンで腹を満たし再下山。竹宇まで長い長い下りが待っていた。



鎖場は雪壁



風雪の頂上

油断できない垂直梯子



今年は厳しい山だった

